

日米共同訓練の規模縮小！オスプレイ参加に反対する全道総決起集会を開催

連合北海道など7団体は、1月18日、札幌市・共済ホールで「日米共同訓練の規模縮小！オスプレイ参加に反対する全道総決起集会」を開催し、650人が参加した。

主催は連合北海道・北海道農民連盟・北海道退職者連合・北海道平和運動フォーラム・DPI北海道ブロック会議・立憲民主党北海道連合・国民民主党北海道総支部連合会の7団体で構成する実行委員会。

主催者を代表して挨拶した連合北海道・杉山会長は、オスプレイの危険性や騒音の問題をはじめ、日米共同訓練が過去最大規模で行われることは平和・軍縮に逆行していると指摘し、立憲民主党北海道連合・本多代表代行と国民民主党北海道総支部連合会・徳永代表からはオスプレイ参加と自衛隊の中東派遣に反対する連帯の挨拶があった。

講演は『問題だらけのオスプレイ～強行配備を許さないために～』と題し、東京新聞・論説兼編集委員の半田滋さんから講演を受けた。半田さんは、構造的な問題のあるオスプレイの欠陥に加えて寒さに弱いことを指摘するとともに、米軍以外にオスプレイを買っているのは世界中で日本だけであることを指摘した。

また、北海道では初となる航空自衛隊千歳基地を整備・補給拠点として活用することに、オスプレイの事故によって新千歳空港の機能がマヒする恐れがあると警鐘を鳴らし、手遅れになる前に反対していかなければ日本全体が米軍基地として使われ、北海道の空を自由に飛び回ることになると訴えた。

講演後、北海道平和運動フォーラム・難波事務局長からは、「日本が再び戦争への道を歩まぬよう反戦平和のとりくみを強化するとともに、平和と民主主義

を破壊する安倍改憲は絶対に許さないことを全体で確認したい」と決意表明があり、北海道退職者連合・富山会長による『集会アピール採択』と北海道農民連盟・西原委員長による『団結ガンバロー』で集会を締めた。

集会後には札幌市内をデモ行進し、「北海道にオスプレイはいらない」「日米地位協定を見直せ」などとシュプレヒコールを上げた。



7団体で構成する実行委員会は、これまで取り組んできた『日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加に反対する署名』を21日に北海道知事へ提出する。

